

参考文献

- [1] Ellen MacArthur Foundation (2016) "The New Plastics Economy: Rethinking the future of plastics," (https://ellenmacarthurfoundation.org/the-new-plastics-economy-rethinking-the-future-of-plastics, 最終アクセス: 2023年2月25日).
- [2] 加茂徹 (2022) 「基調講演: 持続可能な社会におけるプラスチックの循環利用」, 公益社団法人石油学会第64回年会 (https://doi.org/10.11523/sekiyu.2022.0_11 最終アクセス: 2023年2月25日).
- [3] 北村喜宣 (2020) 「環境法第5版」, 弘文堂.
- [4] 公害等調整委員会 (2020) 「元公害等調整委員会審査官が語る「豊島産業廃棄物不法投棄事件」『ちょうせい』, 第100号 (令和2年2月).
- [5] 杉本裕明 (2021) 「産廃編年史—廃棄物処理から資源循環へ—」, 環境新聞社.
- [6] 細田衛士 (2015) 「資源の循環利用とは何か: バツズをグッズに変える新しい経済システム」, 岩波書店.
- [7] 細田衛士 (2008) 「資源循環型社会: 制度設計と政策展望」, 慶應義塾大学出版会.
- [8] 山本雅資 (2017) 「第5章 廃棄物・リサイクルの実証分析」有村俊秀・片山東・松本茂編著 『環境経済学のフロンティア』, 日本評論社.

レポート課題

問 製品の長寿命化は循環経済の推進に有効です。あなたの身近で長寿命化が進んだほうが良いのになかなか進んでいないと考えられる製品があれば教えてください。また、なぜ長寿命化が進んでいないか、あなたが考える理由も教えてください。

小テスト

問 次の各文章のうち、内容が正しいものをすべて選んでください。

- (1) 日本の家庭ごみの処理においては焼却される量が最も多い。
- (2) 廃棄物といっても元は販売された製品であるから、バツズであったとしても市場経済の中で効率的に取引される。
- (3) 日本の不法投棄件数は2000年以降、右下がりの傾向にある。
- (4) 廃プラスチックのリサイクルは、その物的特性から金属資源のリサイクルよりも一般に経済性が低い。
- (5) アメリカやEUで、消費者が購入した製品を自ら修理することが可能になるような法整備が進みつつある。

「環境学」のテキストをお探しの先生方へ

環境学

法学・経済学・自然科学から学ぶ

入門

青木淳一
一ノ瀬大輔
小林宏充

【編】

A5判並製 / 208頁 ISBN: 978-4-7664-2957-2 2024年6月刊行
定価 1,980円 (本体 1,800円)

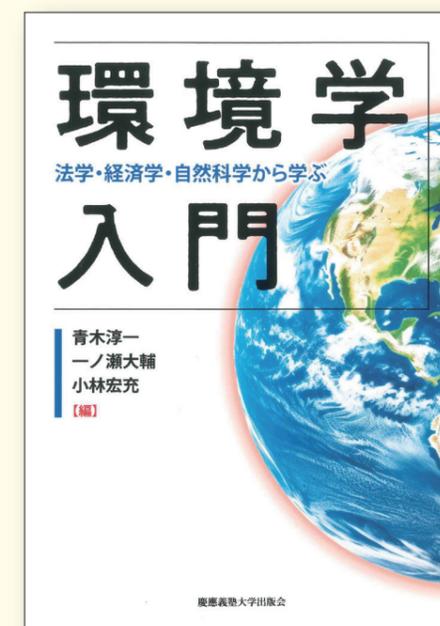
循環型社会、
生物多様性、
気候変動と地球温暖化。
3つのテーマ、**文理の双方**から考える環境問題！

人文系の教養課程の授業に最適！

学部1年生向けに
わかりやすく解説。

慶應義塾大学（通信教育課程）の
テキストにて指定。

「はしがき」の一部を 
お読みいただけます。



POINT 1

全3章を4つの内容で構成。
全12回の授業に使いやすい!

POINT 2 裏面に実例を紹介!

各節にて「レポート課題・小テスト」を掲載。
より授業で使いやすい形にブラッシュアップ!

はしがき

目次

第1章 循環型社会

1 循環型社会をつくるために法ができること【法学】 2

- 循環型社会とは 2 / ● 日本の循環管理法の沿革 3 / ● 循環型社会の形成にかかわる根本的な問題 6 / ● 循環型社会にかかわる環境法の基本理念 7 / ● リサイクルをすすめる法制度の仕組み 10 / ● いまの制度の問題点—プラスチック問題から考える 14
- Column 環境政策の手法 16
- レポート課題・小テスト 17

2 経済学からみる循環型社会【経済学】 18

- 本節の構成について 18 / ● 経済学からみた廃棄物 19 / ● 循環経済への取り組み 24 / ● 日本型循環経済を目指して 29
- レポート課題・小テスト 30

3 循環型社会を支える地球の生態系【自然科学①】 31

- 自然生態系の物質循環 31 / ● バイオマスの利用 35 / ● ヒトは生態ピラミッドの頂点に立つ 36 / ● 生態系内で蓄積され、分解と循環が困難なものによる影響 37 / ● 3Rの前に意識すべきこと 40
- レポート課題・小テスト 41

4 プラスチックの過去・現在・未来【自然科学②】 43

- プラスチックを構成する元素 43 / ● プラスチックは炭素(C)の化学 44 / ● プラスチックは高分子化合物 45 / ● プラスチックの分類 48 / ● プラスチックによる環境問題 51 / ● マイクロプラスチック 53 / ● バイオプラスチック 54 / ● プラスチックの廃棄による環境問題とリサイクルの現状 57
- Column プラスチックの歴史 51
- レポート課題・小テスト 60

エッセイ① 人類の窒素の獲得が生んだ環境問題 61

iv

第2章 生物多様性

1 法と生物多様性【法学】 66

- 生物多様性とは 66 / ● 生物多様性を守るべき理由 67 / ● 生物多様性を脅かす4つの危機 68 / ● 生物多様性保全の考え方 69 / ● 生物多様性条約などの国際的な枠組み 72 / ● 生物多様性基本法などの国内法の枠組み 75
- レポート課題・小テスト 77

2 経済学から考える生物多様性問題【経済学】 79

- 生物多様性と経済 79 / ● 生物多様性と生態系サービス 79 / ● 生物多様性が失われている原因 81 / ● 生物多様性の保全に向けて 86 / ● 生物多様性保全のこれから 92
- Column 生物多様性の経済学：ダズグブタレビュー 83
- レポート課題・小テスト 92

3 生物多様性に影響する生物学的要因【自然科学①】 94

- 地球上の生物 94 / ● 生物多様性に影響する要因 96
- レポート課題・小テスト 106

4 生物多様性の保全と持続的利用を目指して【自然科学②】 108

- 日本列島の自然環境と生物多様性 108 / ● 日本列島の生物多様性が直面する4つの危機 109 / ● 第6の大量絶滅時代 111 / ● レッドリストとレッドデータブック 112 / ● 生物多様性とジオパーク 114 / ● ジオパークで学ぶ生物多様性とジオ多様性 116
- Column 里地・里山の自然と生物多様性：慶應義塾日吉キャンパスの事例 118
- レポート課題・小テスト 119

エッセイ② 地球の宝～南北両極地～をゆく 121

目次

v

第3章 気候変動と温暖化対策

1 国際社会の合意形成と日本の取組み【法学】 126

- 地球規模の問題 126 / ● 人びとの暮らしと温室効果ガス 127 / ● 気候変動枠組条約 129 / ● 京都議定書とパリ協定 130 / ● 地球温暖化対策推進法—日本における温暖化緩和策の基礎 132 / ● 緩和の取組み① 省エネ 135 / ● 緩和の取組み② 経済的手法 136 / ● 気候変動適応法—日本における適応策の柱 137
- Column 環境基本法の基本理念 133
- レポート課題・小テスト 139

2 経済的なしくみによる解決【経済学】 140

- 気候変動による(経済)被害の可能性の概観 140 / ● 緩和と適応 142 / ● 課税と排出量取引 146 / ● その他の経済的手法 152
- Column 地球温暖化政策の経済的影響 153
- レポート課題・小テスト 154

3 地球温暖化のメカニズムと自然界での影響【自然科学①】 156

- 気候変動と地球温暖化 156 / ● コンピュータによって表現された地球 160 / ● 気象現象の将来変化と近年の事例 165
- レポート課題・小テスト 168

4 物理学の視点から考えるエネルギーと温暖化対策【自然科学②】 170

- 化石燃料とエネルギーの起源 170 / ● エネルギー資源とエネルギー保存則 171 / ● 電力構成比 172 / ● 化石燃料・原子力によるエネルギーの変換方法 173 / ● 再生可能エネルギーの変換方法 176 / ● 温暖化対策としてのカーボンニュートラル 178 / ● 日本のエネルギー政策 180
- Column ジオエンジニアリング(気候工学) 182
- レポート課題・小テスト 182

エッセイ③ 「水俣病問題」は私たちに何を問いかけるか 184

索引 188
執筆者紹介 190

目次

POINT 3

章ごとにエッセイを掲載。
身近な問題につなげながら、理解を深めます。

POINT 4

法学、経済学のほか自然科学分野も横断してわかりやすく解説。
全般的な知識をバランスよく網羅!